

特集 セタ健康まつり2026

- 学長巻頭言「行事が育てる力」
- 看護学科トピックス／医療介護福祉学科トピックス
- キラリ賞／スポーツ大会／防災訓練実施報告
- 第2回オープンキャンパス
川崎エコアクション
国家試験結果と進路状況／協定会報告
- 新任教職員紹介／インフォメーション

セタ健康まつり



学長巻頭言

行事が育てる力

学長 秋山 祐治



今年も7月4日(土)に恒例となった「川崎学園岡山キャンパス 七夕健康まつり」を開催いたしました。当日はあいにくの雨天になりましたが、800名を超える多くの地域の皆様にご来場いただき、心より感謝申し上げます。また、当日の運営に尽力してくれた学生の皆さん、そして教職員の皆さんにも深く感謝いたします。七夕健康まつりは、地域の皆様に健康について考えていただく機会であると同時に、本学が地域とともに歩む教育機関であることを実感できる大切な行事です。健康チェック・体力測定や、病院のお仕事紹介、職業体験など、さまざまな催しを通じて、会場には多くの笑顔があふれました。また、食の楽しみと腎臓病の予防について、午前と午後の2部構成で開催した公開講座はいずれも定員いっぱいの申し込みをいただき、このイベントが地域に浸透してきていることを実感いたしました。雨天という条件の中でも、大きな混乱なく、温かな雰囲気の中で終えることができたのは、一人ひとりが自分の役割を果たし、お互いに支え合った成果であったと感じています。一つのイベントを成功させるためには、もちろん当日の運営は大切ですが、企画を立案し、目的を共有し、関係者と調整を重ね、必要な準備を進めることが求められます。さらに、天候のような予測できない事態を想定し、状況に応じて柔軟に対応する力も必要です。そして終了後には、成果を振り返り、課題を整理し、次回へとつなげていく姿勢が欠かせません。こうした一連のプロセスは、まさに社会で求められる「企画実行力」を養う実践そのものです。どれほど優れたアイデアであっても、それを形にし、人と協力しながら最後までやり遂げなければ成果には結びつきません。医療福祉の現場においても、多職種が連携し、患者さんや利用者のために最善を尽くすことが

求められます。そのためには、自ら考え、行動し、周囲と協働する力が欠かせません。学生の皆さんには、七夕健康まつりで経験した一つひとつの出来事を、単なる「行事」として終わらせるのではなく、自身の成長につながる学びとして振り返ってほしいと思います。準備の段階で苦労したこと、当日に工夫したこと、予想外の出来事への対応、そして仲間と力を合わせてやり遂げた達成感。そのすべてが、将来、医療福祉専門職として活躍するための大切な財産になるはずです。地域の皆様との交流を通して得られる学びも、本学ならではの貴重な教育の機会です。地域に開かれた大学として、人と人とのつながりを大切にしながら、教育・研究・地域貢献の充実に努めてまいります。今回の七夕健康まつりにかかわってくださったすべての皆様に、改めて感謝申し上げます。そして、この経験が学生一人ひとりの成長の糧となり、本学が地域からより一層信頼される大学へと発展していくことを心から願っています。



本降りになる前に ― 早朝から準備に取りかかる学生たち

看護学科トピックス

学外研修

5月9日（土）に、新入生を対象とした学外研修を岡山後楽園および岡山城で実施しました。新緑が美しい園内を舞台に、これからともに学ぶ仲間との交流を深めることを目的としています。学生たちは4～5人のグループに分かれ、後楽園や岡山城にまつわるクイズに挑戦したり、園内にいる教員を探してあいさつを交わしながら、和やかな雰囲気の中で散策を楽しみました。研修の最後には、クイズ正解率や教員から多くのサインを集めたグループの上位5チームを表彰しました。川崎医科大学メディカルミュージアムオリジナルグッズや文房具が贈られ、大いに盛り上がりました。参加した学生からは「グループで協力しながら楽しくまわることができた」との声が寄せられました。この研修は、将来チーム医療を担ううえで欠かせない協調性を育む貴重な機会となりました。

（看護学科 門田 理恵）



医療介護福祉学科トピックス

実習開始式

5月30日（土）、100大講義室において介護実習開始式を開催しました。介護実習開始式は、医療介護福祉学科2年次生が施設実習を前に、実習への決意を表明する式です。まず、新見副学長より激励の言葉が贈られました。続いて、学生一人ひとりが実習に向けた宣誓を行い、「利用者さんの思いに寄り添いたい」「利用者さんにとって安全で安楽な介護技術を実践したい」など、それぞれの目標や決意を表明しました。また、3年次生からは自身の実習経験を踏まえた激励の言葉が贈られ、2年次生一人ひとりに花束が贈呈されました。

式典後には特別講演が行われ、社会福祉法人淳風福祉会の沖中純子先生より、実習生としての利用者さんとかかわり方や心構え、主体的に行動することの大切さについてお話をいただきました。学生たちは利用者さんに心をはせながら、介護福祉士を目指す決意をさらに深める機会となりました。

（医療介護福祉学科 時弘 里紗）



病院実習事例報告会

7月13日（月）、209講義室において令和8年度病院実習事例報告会を開催しました。この報告会は、医療介護福祉学科3年次生が、5週間の病院実習で介護過程に取り組んだ結果をまとめ、発表するものです。病院の指導者から「患者さんの現在の様子」や「ご家族や医療職から情報を収集して患者さんのことを知ろうとする姿勢が良かった」「生活背景から介護過程を展開していた」などのコメントがありました。また、2年次生の学生から質問もあり、有意義な報告会となりました。報告会を通じて、介護福祉士として病気が生活に及ぼす影響についてアセスメントする力が必要であることを考える機会となりました。

（医療介護福祉学科 居村 貴子）



川崎学園 岡山キャンパス

七夕健康まつり 2026

7月4日（土）、岡山キャンパス3施設（医療短期大学、総合医療センター、高齢者医療センター）による「七夕健康まつり2026 ～つなげよう元気と笑顔！～」を開催しました。内容は「公開講座」・「病院のお仕事紹介」・「職業体験」・「健康チェック・相談」・「病院探検ツアー」・「キッズコーナー」などで、小学生から高齢の方まで幅広く楽しんでもいただけるイベントを用意しました。今年は、3年目となることもあって、各イベントの開催時間や会場調整などさまざまな改善に取り組みました。当日はあいにくの雨天となり、来場者の心配をしましたが、案内方法の工夫などの効果もあり、公開講座や病院探検ツアーなどでは抽選が必要となるなど盛況を博しました。また、昨年のアンケート結果を踏まえて行った学友会によるパンの販売も完売となりました。結果、全体で昨年を大きく上回る816名の来場者があり、多くの方に岡山キャンパスに「来て」、「見て」、「ふれて」いただき、広報活動としては一定の成果があったと考えています。教職員はもとより、サポーターとして協力していただいた学生の皆さんのおかげであると考えています。アンケートでは、「病院が怖くなくなった」・「楽しかったので次回もぜひ参加したい」・「健康増進に役立てたい」・「スタッフや学生さんが優しく親切だった」・「病院の仕事の内容がよく分かった」など、主催者にとって達成感の得られる感想を多くいただきました。今後も、岡山キャンパス施設の利用促進や将来の医療福祉人材の育成につながり、地域の方々に楽しんでもいただける催しを開催していきたいと思えます。

受付・案内

イベントの「顔」として、受付や会場案内、スタンプラリーなど各所で学生サポーターが活躍しました。大雨にもかかわらず絶え間なく訪れる来場者を、笑顔でお迎えしました。



準備風景

当日は朝から雨。それでも手際よく会場設営や最終確認を進め、万全の態勢で開場を迎えました。



開催イベント一覧

- 1 公開講座 ① 医療短期大学 主催 ② 高齢者医療センター 主催 申込必要 (電話申込可)
- 2 認知症サポーター養成講座 申込必要 (電話申込可)
- 3 病院のお仕事紹介
- 4 病院探検ツアー 申込必要
- 5 フレイル予防・健康体操 申込必要 (電話申込可)
- 6 健康チェック・体力測定・介護相談・きこえの相談
- 7 職業体験（小・中・高生）
- 8 これな～んだ？超音波で見てみよう！
- 9 キッズコーナー（小学生まで）
- ※ パン販売・キッチンカーコーナー

健康チェックコーナー

学生たちが血圧や骨密度の測定、ストレスチェックを担当しました。大盛況のため待ち時間が長くなる場面もありましたが、丁寧な対応に来場者からは好評をいただきました。



職業体験コーナー

看護学科 看護師体験

包帯の巻き方や注射の準備、新生児の赤ちゃん人形を使った聴診体験など、本格的な看護師体験を実施しました。小学生から高校生まで、真剣なまなざしで取り組んでいました。



医療介護福祉学科 介護福祉士体験

介護クイズや移乗ボードなど福祉用具の体験コーナーを設置しました。親子で参加される方も多く、学生の指導のもと来場者が真剣に体験に取り組む姿が印象的でした。



キッズコーナー

医療短大の校友会と医療福祉大学の医療保育学科の学生がサポーターとして大活躍しました。工作やゲームなど、子どもたちの目線に立った優しい対応で大盛況となり、小さなお子様連れの保護者の皆様から大好評でした。



パン販売・キッチンカーコーナー

大雨の中でもキッチンカーのケバブなどが大盛況でした。今年から始めた校友会によるパン販売も大好評で、見事完売となりました。



2025年度 年間キラリ賞表彰式



4月7日（火）に2025年度年間キラリ賞の表彰式が行われました。この賞は学業に優れるだけでなく、さまざまな社会活動を通して社会人基礎力を身につけた医療福祉人として、他の学生の模範となるような学生に贈られます。昨年度の活動を評価し、各学科・各学年の上位の学生が選出されました。卒業前に表彰された昨年度の3年次生を除く、昨年度の1・2年次生が表彰され、秋山 祐治学長より表彰状と副賞が授与されました。

個人表彰

看護学科

1年生	藤原 玲奈	2年生	岩下 響
	古本 紗英		古澤 真梨菜
	百田 ひかる		山川 優奈

医療介護福祉学科

1年生	黒瀬 賢人	2年生	森田 幹子
-----	-------	-----	-------

*2025年度の学年で表記しています。



2026 年度

スポーツ大会



5月16日（土）、本学体育館にて学友会主催のスポーツ大会が開催されました。今年度の種目はドッジビーで、88名の学生が参加しました。男女混合の1チーム8～10名で編成された9チームが、トーナメント形式で熱戦を繰り広げました。

試合が始まると、やわらかいディスクのコントロールに苦戦する様子も見られましたが、試合を重ねるごとにコツをつかみ、次第にスムーズなプレーへと変化していきました。ディスクが2枚になると仲間と声を掛け合いながらパスをつなぎ、相手の動きを読みつつ白熱した攻防が展開されました。優勝チームに話を聞くと、「戦略」と「団結力」が勝利につながったと笑顔で語ってくれました。応援する学生も含め、会場全体が一体となって盛り上がっていました。笑顔と真剣さがあふれる、充実した大会となりました。（学生生活支援委員会 小淵 京子）



防災訓練実施報告

4月7日（火）に川崎医科大学高齢者医療センターとの合同の防災訓練が実施され、学生・教職員合わせて約320名が参加しました。昨年度に引き続き、地震発生直後の火災を想定した内容で訓練が行われました。まず、映像で避難訓練の重要性や延焼防止のための防火戸の役割と仕組みを学びました。次いで、教室内で頭部と頸部を守る「命を守るポーズ」を体験し、その重要性を確認しました。

さらに地震発生後、高齢者医療センターから出火しているとの想定で、学生・教職員は避難経路に沿って避難しました。通常の避難先は深砥ガーデンですが、今年度は雨天のため本学校舎棟1階エントランスホールに変更しました。全学年の学生が集合し、秋山学長から講評をいただきました。昨年度から実施している高齢者医療センターとの合同訓練では、看護学科2年次生8名が患者役・搬送役として避難訓練に参加しました。高齢者医療センターと合同で訓練を行うことで、学生たちにとって貴重な学びの機会となりました。

訓練を繰り返すことで防災意識が高まり、災害発生時に安全な避難行動をとることができるようになることを実感しました。（看護学科 安木 信子）



2026年度 第2回オープンキャンパス いってみよ！病院見学・職場体験ツアー

5月23日(土)、本学単独のオープンキャンパスを開催しました。川崎医科大学総合医療センターおよび高齢者医療センターの協力のもと、病院見学と職業体験を中心としたプログラムを実施し、高校生19名が参加しました。参加者は医療用ユニフォームに着替え、普段は立ち入ることのできない手術室や病棟を見学しました。職業体験では、点滴の滴下調整や固定の体験、心音・呼吸音の聴診、さらには患者さんとのレクリエーション活動などを通して、医療・福祉の現場に直接触れることができ、どの高校生も熱心に取り組んでいました。また、本学卒業生である看護師や介護福祉士との交流の場もあり、現場のリアルな声を聞くことで、参加者の進路に対する意識がより深まる機会となりました。午後からは大学体験型イベントや在学生との懇談が行われ、リラックスした雰囲気の中で会話が弾み、参加者は質問などを交えながら情報交換を行いました。

(看護学科 河畑 匡花)



地球温暖化対策ワーキンググループだより

NO. 51

川崎エコアクション

小さな習慣の見直しが
地球温暖化対策の第一歩



近年、世界的な「地球温暖化」による気候変動が進み、「地球沸騰の時代が到来」するとも言われるほど、その影響は深刻化しています。また、中東情勢の緊張によりエネルギー資源の不透明感が増す中、化石燃料依存からの脱却や省資源化の重要性が再認識されています。こうした情勢を受け、私たち「地球温暖化対策ワーキンググループ」は身近な学内行動の変革に取り組んでいます。「エレベーター使用は極力避けて階段利用(2アップ3ダウン)」の実践、講義室や自修室での「こまめな消灯の徹底」、さらに資源保護に向けた「ゴミ袋の適切な使用と削減」など、小さな習慣の見直しを呼びかけています。できていることも増えてきましたが、まだまだできることもありそうです。一人ひとりのささやかな意識改革が、地球温暖化防止と持続可能な未来への確かな一歩となります。ぜひ皆さんも一緒に取り組んでいきましょう。

(地球温暖化対策ワーキンググループ 太田 栄子)

2025年度

国家試験結果と進路状況

3月に2025年度国家試験合格発表があり、結果は下表のとおりでした。教員の熱心な指導と学生の努力により看護学科は全国合格率を上回る結果、医療介護福祉学科は合格率100%でした。

就職については、就職希望者91名全員が就職し、就職率は100%でした。

	看護学科	医療介護福祉学科
国家試験	看護師	介護福祉士
試験日	2月15日	1月25日
合格発表日	3月24日	3月16日
全国平均	88.3%	70.1%
合格率	95.2%	100%

協会報告

令和8年度
川崎医療短期大学
協会役員

会長 蓮岡 実(看護学科3年)
副会長 岡田 真紀(看護学科2年)
副会長 秋山 祐治(川崎医療短期大学学長)

監事 三島 由成(医療介護福祉学科2年)
監事 木原 宏(医療介護福祉学科1年)
評議員 樋口 ゆかり(医療介護福祉学科3年)
評議員 藤井 暁美(看護学科1年)

※()内の学科・学年は学生の所属

他 学内評議員6名

令和7年度収支決算書及び令和8年度収支予算書

4月3日の入学式終了後に開催された令和8年度協会総会において、下表の令和7年度収支決算書及び令和8年度収支予算書が承認されました。これにより、今年度も学生の皆さんの学習、福利厚生、学生生活及び進路等に関する諸活動についての支援が行われます。

令和7年度 川崎医療短期大学協会収支決算書

一般会計 (円)			
収	入	支	出
会費	2,520,000	学生研修助成費	593,000
前年度繰越金	839,763	厚生福利費	590,692
雑収入	0	学生生活指導費	562,000
		進路指導助成費	550,000
		協会運営費	94,202
		予備費	415,500
		次年度繰越金	554,369
合 計	3,359,763	合 計	3,359,763
施設整備基金・緊急的対策費 (円)			
収	入	支	出
前年度繰越金	10,813,680	次年度繰越金	10,825,905
雑収入(預金金利)	12,225		
合 計	10,825,905	合 計	10,825,905

令和8年度 川崎医療短期大学協会収支予算書

一般会計 (円)			
収	入	支	出
会費	2,130,000	学生研修助成費	587,000
前年度繰越金	554,369	厚生福利費	602,000
		学生生活指導費	518,000
		進路指導助成費	555,000
		協会運営費	137,000
		予備費	285,369
合 計	2,684,369	合 計	2,684,369
施設整備基金・緊急的対策費 (円)			
収	入	支	出
前年度繰越金	10,825,905	次年度繰越金	10,838,146
雑収入	12,241		
合 計	10,838,146	合 計	10,838,146

※施設整備基金・緊急的対策費とは、教育・実習のための施設設備及び学生のために特に必要なものを備えることを目的とした積立金

2027年度 入学試験

入試区分	出願期間 【消印有効】	試験日	合格発表
学校推薦型選抜前期 (専願) 【公募・指定校推薦・有資格・大学体験型】	11月2日(月)～ 11月6日(金)	11月14日(土)	12月1日(火)
学校推薦型選抜後期 (併願可) A日程・B日程	11月20日(金)～ 12月3日(木)	(A日程) 12月13日(日) (B日程) 12月14日(月)	12月18日(金)
一般選抜 前期 (併願可) A日程・B日程	2027年 1月6日(水)～ 1月20日(水)	(A日程) 2月1日(月) (B日程) 2月2日(火)	2月6日(土)
一般選抜 後期 (併願可)	2月19日(金)～ 2月27日(土)	3月6日(土)	3月10日(水)

主要行事 (9月～3月)

9月	14日 医療介護福祉学科ノーリフティングケア研修 24日 医療介護福祉学科3年地域介護実践実習(～10/27) 24日 後期授業開始
10月	3日 総合型選抜入試 17日 学園祭・キャンパスショーケース(医療福祉大学にて)(～18日) 24日 看護学科2年継灯式・保護者会 26日 医療介護福祉学科2年介護実習Ⅱ (～11/27)
11月	6日 看護学科1年基礎看護学実習Ⅰ (～11/13) 7日 第2回公開講座 14日 学校推薦型選抜前期入試 24日 医療介護福祉学科1年介護実習Ⅰ-2(～12/17)(毎週火～木曜日) 24日 看護学科2年基礎看護学実習Ⅱ (～12/25)
12月	13日 学校推薦型選抜後期入試 (～14日) 19日 学友会クリスマスイベント
1月	9日 医療介護福祉学科2年実習事例報告会 20日 川崎学園防災の日 27日 後期定期試験(看護学科最高学年～29日) 31日 第39回介護福祉士国家試験
2月	1日 一般選抜前期入試 (～2日) 3日 後期定期試験(医療介護福祉学科最高学年～4日) 3日 後期定期試験 (～13日) 13日 医療介護福祉学科2年保護者会 14日 第116回看護師国家試験
3月	6日 一般選抜後期入試 15日 卒業証書・学位記授与式 27日 3校合同オープンキャンパス

川崎医療短期大学学報

「若きいのち」(119号)

2026年9月発行

編集発行：広報誌等作成ワーキンググループ

熊野 一郎 (看護学科・責任者)

小淵 京子 (看護学科)

横田 純子 (医療介護福祉学科)

雪吉 由美 (事務室・書記)

写真協力：二葉写真館

編集：友野印刷株式会社

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番70号

TEL 086-201-5333 (代表)

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ https://j.kawasaki-m.ac.jp

2026年度 公開講座

令和8年度 川崎医療短期大学 第2回 公開講座

**知っておきたい！
薬との上手なつきあい方**

～薬を安全に安心して使うために～

参加無料
※申込あり
定員100名

正しく薬は飲めていますか？薬の正しい使い方や管理方法を知っておくことは大切です。薬との上手なつきあいを学びましょう

「たくさん薬があっても管理がわからない…」
「飲み忘れた時はどうすればいい？」

2026年
11月7日(土)
10:00～11:30 (受付開始9:30)

【会場】 川崎医療短期大学 大講義室
(岡山市北区中山下二丁目1番70号)

【講師】 監物 英男 (川崎医科大学総合医療センター 薬剤部長)

【対象】 高校生・一般の方

【定員】 先着100名 (定員に達し次第締切)

第2回 公開講座

講座名：

知っておきたい！薬との上手なつきあい方

申込方法

①電話・FAX

TEL：086-201-5333

FAX：086-201-5676

受付窓口：川崎医療短期大学 公開講座係

受付時間：平 日9:00～16:30

土曜日9:00～12:00

※FAXの場合、参加希望日、申込者氏名・ふりがな・電話番号をご記入のうえ送信してください。

②専用申込フォーム



OPEN CAMPUS 2026

2026年度

オープンキャンパス/放課後キャンパスツアー 開催スケジュール

オープンキャンパス

●キャンパスショーケース

(受付：川崎医療福祉大学(倉敷市)にて)

開催日時	
10月17日(土) 9:00～15:00	学園祭 同時開催
10月18日(日) 9:00～13:30	

●合同オープンキャンパス

(受付：川崎医療福祉大学(倉敷市)にて)

川崎医療短期大学・川崎医療福祉大学・
川崎リハビリテーション学院の **3校合同開催**

開催日時	
3月27日(土) 9:30～16:00	

◆体験・模擬講義、入試概要説明、入試相談など、豊富なコンテンツ！

◆参加された方に記念グッズなどプレゼント！

合同オープンキャンパスは・・・

◆当日JR中庄駅から往復無料バス運行

◆駐車場あり

オープンキャンパスは事前予約制です。
ホームページ等でご確認ください。

いってみよ！

放課後 キャンパスツアー

お一人でも、友達と一緒にでも！

気軽に放課後にちょっと寄り道してみませんか。

スタッフが校舎内をご案内します。

開催日時	
10/28(水)・11/11(水)・11/25(水) 16:00～17:00、17:00～18:00	

◆ご希望の開催日3日前までに本学ホームページからご予約ください。

開催日時	
9/30(水)・10/7(水)・10/21(水) 11/4(水)・11/18(水) 16:30～18:00	

川崎医科大学総合医療センターの
見学もあります

新任教職員紹介

新しく本学の仲間になった教職員の方々を紹介します。

足羽 孝子 看護学科 特任教授



これまで、看護師として超急性期から訪問看護まで様々な経験をしてきました。現在は、川崎医科大学高齢者医療センターで看護管理を行っています。これまでの経験を皆様と共有しながら、看護の楽しさをお伝えできればと思います。看護は日々学びです。

川口 恵美 看護学科 助教



これまで川崎医科大学附属病院で30年間臨床に従事し、母性看護実践と後進指導や学生実習指導などに携わっていました。今後はその経験を教育の場で活かし、学生が主体的に学び、看護専門職として成長できるよう支援してまいりたいと考えています。

大村 愛理 看護学科 助教



看護師としての病棟経験を活かし、皆さんをサポートするとともに、小児看護の楽しさを伝えたいと思っています。気軽に声を掛けてください。一緒に頑張りましょう！

中垣内 恵子 中山下レジデンス 管理人



目標に向かい、毎日頑張っている学生の皆さんが、快適な環境で勉学に励み、楽しい学生生活を送れるようサポートしていきたいと思っています。分からないことや困ったことがあれば、お気軽にお尋ねください。

編集後記

例年よりも早くから厳しい暑さが続き、キャンパス内の「こもれびの校庭」では、青々とした木々が夏の日差しを受けて鮮やかな景色をつくり出しました。連日の猛暑の中でも、季節の移りいを感じさせる風景が、訪れる人々にひとときの安らぎを与えてくれました。

本号の特集でもご紹介しておりますように、今年も「七夕健康まつり2026」を開催いたしました。当日はあいにくの雨天となりましたが、昨年を上回る多くの皆様にご来場いただき、会場は終日活気と笑顔に包まれました。学生・教職員が力を合わせて準備を重ねた成果が実を結び、地域の皆様との交流を深める有意義な一日となりました。

(医療介護福祉学科 横田 純子)